

# 令和5年度「南城市幼児教育の質向上強化事業」活動記録簿

幼児教育アドバイザー	大城 美恵子	実施場所	各園
実施日時	令和5年 5月 20日～ 令和6年1月13日		
事業の名称	令和5年度園内研修支援事業		
参加者	① 5/20(土) 玉城こども園 18名      ⑦ 9/9(土)おおざと保育園 15名 ② 6/27(火) おひさま保育園 15名      ⑧ 1/13(土)おおざと保育園 15名 ③ 6/24(土) 小羊保育園 25名 ④ 6/29(木) 佐敷こども園 15名 ⑤ 7/18(水) 木の国保育園 4名(4歳児学級の研修) ⑥ 11/28(火) 大里こども園 公開保育&保育の振り返り 20名		

## 1 内容 各園の園内研修要請内容の講話と質疑応答

### ① 玉城こども園：園内研修の進め方について

- ・ 幼児期に育てたい資質・能力
- ・ 園内研修の進め方⇒研修と保育のマネジメントサイクル
- ・ 「幼児が遊びこむための環境構成と援助の工夫」について



### ② おひさま保育園：子どもの主体性を尊重する保育とは（環境構成や援助の工夫）

- ・ 保育者の意図と幼児の主体性：バランスが大切
- ・ 日々の保育の中の小さな見直し
- ・ 子どものやりたいが発揮される環境構成：教材の準備や援助の工夫



### ③ 小羊保育園：遊びこむための環境構成と援助のあり方について

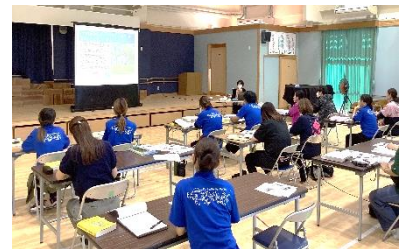
- ・ 遊びこむとは？「子どものやりたい」「やってみよう」を引き出す。
- ・ 子どもが主体的に活動を行い、発達に必要な経験を積んでいくこと。

### ④ 佐敷こども園：週日案の作成について

- ・ 幼児の発達の過程と期の捉え。資質・能力、10の姿、5領域の関連。
- ・ 月案・週案における子どもの姿を捉える視点。保育者の意図と幼児の主体性をバランスよく。（共主体）

### ⑤ 木の国保育園：4歳児学級の保育参観&保育の振り返り・保育者へのチュータリング

- ・ 保育参観後の振り返り：子ども主体の環境構成へ
- ・ 支援を要する幼児への配慮と遊びや生活の流れ。



### ⑥ 大里こども園：公開保育&保育の振り返り(指導助言)

- ・ 期・月・週・日案の指導計画を踏まえた保育の展開

### ⑦ おおざと保育園：保育ドキュメンテーション幼児の姿読取と育ちの書き方

## 2 成果

- 子ども主体の保育を目指して保育改善を図ってくことを保育者と確認できた。
- 「幼児の主体性」と「保育者の意図」とをバランスよく絡ませていくことの必要性を確認できた。

## 3 課題

- 時差出勤のため全職員揃っての研修が困難である。
- 指導案(週日案)の作成に戸惑っている園も見られる。



## 4 改善策

- 隙間時間や付箋紙を活用した研修で全職員が共有できる工夫をする。
- 幼児教育センターが指導案の作成や子どもの主体性を尊重した保育、遊びこみの環境構成と保育者の援助のあり方等、保育参観を通して支援していく。

